

中間報告書（平成 22 年度）

提出者 森本一彦

提出年月日 2011 年 4 月 26 日

【プロジェクト名】

和文 アジアの家族と親密圏

英文 Asian Families and Intimacy

【メンバー構成】

研究代表者 森本一彦

幹事

メンバー

京都大学：落合恵美子、Rajkai Zsombor Tibor、高山勉、中島満大、織田暁子、安井大輔、阿部友香、香川直子

国内：長坂格（広島大学）、中谷文美（岡山大学）

海外：Eun Kisoo (Seoul National University, Korea)、Nguyen Huu Minh (Vietnam Academy of Social Sciences)、Wongyannava Thanes (Thammasat University, Thailand)、Uberoi Patricia (University of Delhi, India)、Hou Yangfang (Fudan University, China)、Sobritchea Carolyn (The University of Philippines)、Gadis Arivia Effendi (Center of Culture and Values, Catholic University, USA)

【ねらいと目的】（600 字程度）

リーディングス『アジアの家族と親密圏』（英語出版：全 6 巻）は、アジア 9 社会で（原則として地域の言語で）書かれた家族と親密圏に関する基本論文を収集・英訳して出版するもので、これまで主に英語圏で書かれた知識を基盤にして行われてきたアジア地域の比較研究を、アジア社会自身が生み出した知の蓄積の上に再構築することを目的としている。日本、韓国、中国、台湾、ベトナム、フィリピン、タイ、インドネシア、インドの研究者によるリーディングス編集委員会を組織し、編集会議を重ねてきた。編集会議は単にリーディングス作成の事務的な会議ではなく、互いの家族や親密圏に対する理解を促進させる役割も果たすことを期待している。アジア社会における伝統的な家族や親密圏のあり方は多様だが、グローバル化や近代化への反作用として一様に家族主義を強調するようになったことは興味深い。本プロジェクトでは、アジア家族についての「神話」に覆われた各社会の伝統家族の実像と変容の実態を明らかにすることを通して、今後の家族研究や社会政策形成の前提を提示していきたい。また、家族研究における膨大な蓄積を持つ日本については、リーディングス『日本の家族と親密圏』（日本語出版：全 3 巻）の編集も並行して行っている。本プロジェクトは、大学院生の教育と研究の機会ともなることを期して、論文選定や要約を中心とした勉強会や編集会議への参加を行っている。

【活動の記録】

本年度は、英語版リーディングスの編集を進めた。各国の収録候補を決定するために、3度の編集会議を行うとともに、京都大学の大学院生を中心としてリーディングス収録予定の日本語論文の検討を行うとともに、論文の要約、編集会議の報告会を行った。

2010年4月15日～19日 英語版リーディングス収録論文選定

2010年4月20日 編集会議（杭州）

出席者：落合恵美子、長坂格、中谷文美、Sobritchea, Carolyn、Gadis Arivia EFFENDI、Wongyannava, Thanés、Uberoi, Patricia、Hou, Yangfang、RAJKAI ZSOMBOR TIBOR、ZHANG Xinming、CHEN Xi、高山勉

2010年5月25日 リーディングス編集会議の報告 高山勉

2010年6月15日 リーディングス編集会議の報告 高山勉

2010年6月29日 リーディングス編集会議の報告 高山勉

2010年8月3日 英語版リーディングス収録論文選定

2010年8月4日～6日 編集会議（於ハノイ）

出席者：落合恵美子、Nguyen Huu Minh、Eun Kisoó、Thanés Wongyannava、Patricia Uberoi、Sobritchea, Carolyn、Hou, Yangfang

2010年12月14日 リーディングス編集会議

出席者：落合恵美子、森本一彦、長坂格、Nguyen Huu Minh、Thanés Wongyannava、

【成果の概要】（800字程度）

本年度は、4月の杭州、8月のハノイ、12月の京都大学において3度の英語版リーディングス編集会議を行った。リーディングス『アジアの家族と親密圏』（英語出版：全6巻）のアジア9社会（日本、韓国、中国、台湾、ベトナム、フィリピン、タイ、インドネシア、インド）の収録論文をほぼ決定し、英語への翻訳をおこなった。特にベトナム、韓国、中国の論文については英訳を完了した。日本、タイについては収録論文を決定して、翻訳を進行中である。日本については、著者、出版社に対する掲載許可の申請も進めている。編集会議を通じて、各文化の家族や親密圏に関する相違点や共通点についての理解が深まっており、リーディングスの解題の準備ともなっている。日本語の収録論文については大学院生を中心とした勉強会を組織して、論文選定と要約を担当した。また、一部の大学院生は、編集会議に参加して、その内容を勉強会で報告しており、教育、研究の機会となった。また、リーディングスの編集の直接的な作業工程についても関わり、実務を実体験することとなり、狭い意味の教育・研究にとどまらない経験の場となっている。

リーディングス『日本の家族と親密圏』（日本語出版：全3巻）については、収録候補論文を収集中であり、来年度も継続していくこととしている。日本図書センターから出版する予定となっており、出版計画が打ち合わされており、論文の校正や掲載許可については日本図書センターが担当する。収録予定の論文選定に大学院生も関わっており、収録論文の決定後に論文の解題を大学院生や学外研究者へ依頼することを検討している。

【通信欄】

(事務局記入欄)

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	(千円)	実績額